資料１

千葉市営水道の概要 及び 令和６年度予算（案）について

千葉市
CHIBA CITY

令和５年度第１回
千葉市水道事業運営協議会
令和６年３月２１日（木）

千葉市水道局

目 次

1　千葉市水道事業（市営水道）について

（１）千葉市内の水道事業（給水区域）　P. 2

（２）市営水道の経緯　P. 3

（３）水源について　P. 4

（４）県営水道との比較　P. 5

2　経営状況（Ｒ４決算）について

（１）収益的収支の概要　P. 6

（２）資本的収支の概要　P. 8

（３）他会計繰入金の推移　P. 10

3　経営計画について

（１）経営計画　P. 11

4　令和６年度当初予算について

（１）基本的な考え方　P. 12

（２）業務の予定量　P. 12

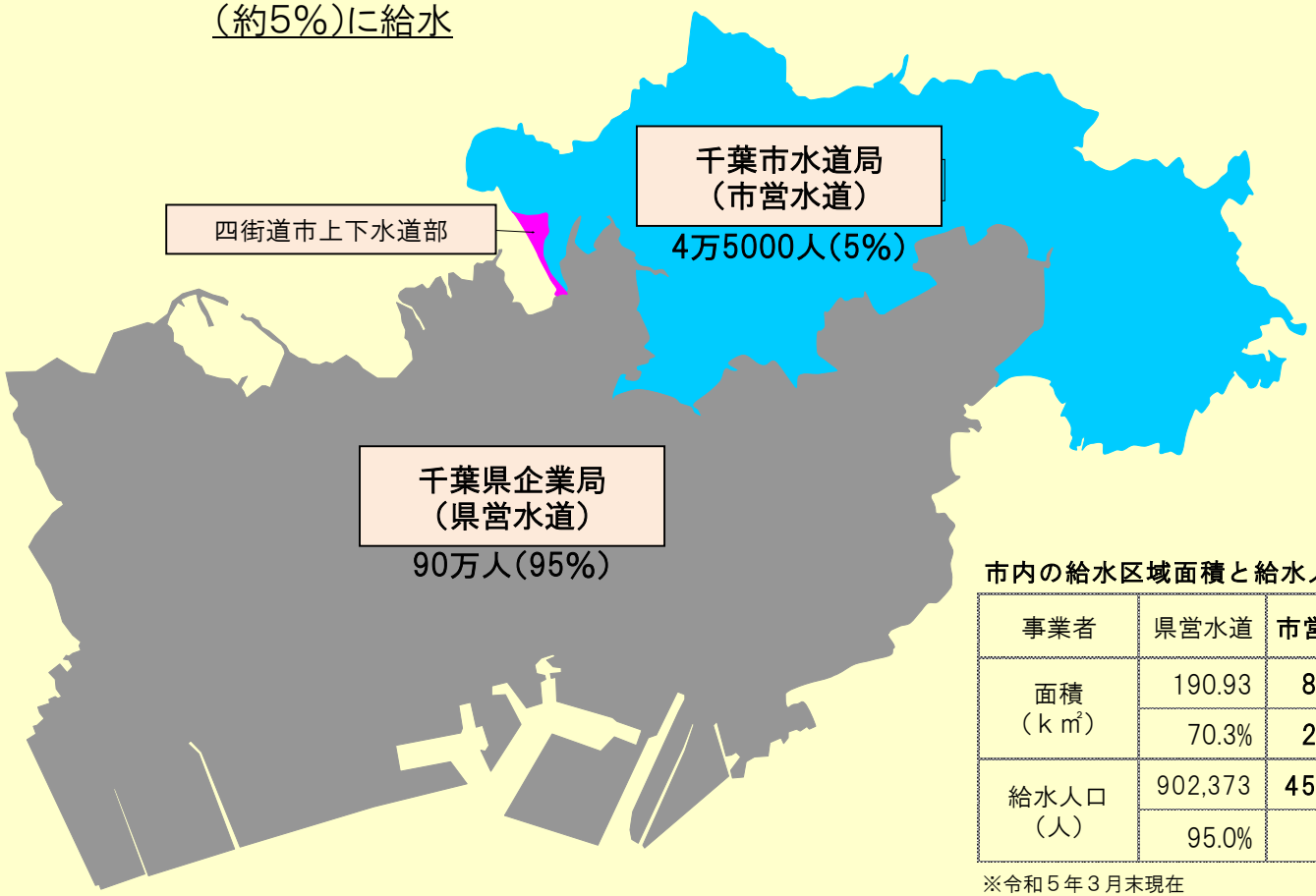
（３）当初予算の概要（前年度比較）　P. 13

（４）主な事業　P. 14

1　千葉市水道事業（市営水道）について

（１）千葉市内の水道事業（給水区域）

千葉市内の水道･･･3事業者により運営
　（千葉県企業局（県営水道）、**千葉市水道局（市営水道）**、四街道市上下水道部）
・県営水道　人口密度の高い都市部を中心に、市域面積の約70%、約90万人（約95%）に給水
・市営水道　市街化調整区域など人口密度の低い地域を多く含む、市域面積の約30%、4万5000人（約5%）に給水



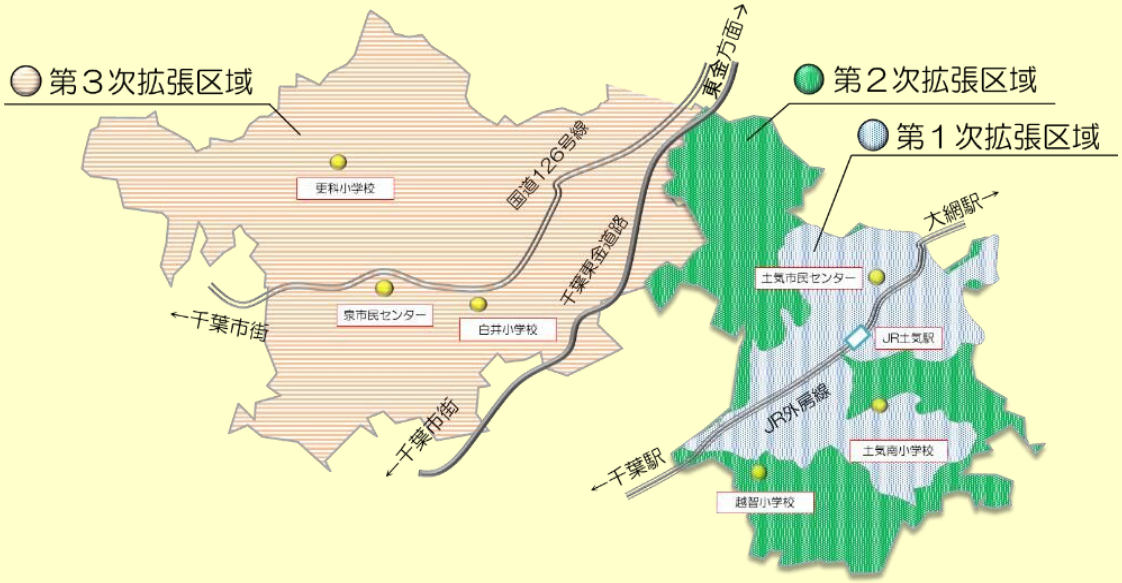
市内の給水区域面積と給水人口（事業者別）

事業者	県営水道	**市営水道**	四街道市	全　体
面積（k㎡）	190.93	**80.28**	0.56	271.77
	70.3%	**29.5%**	0.2%	100%
給水人口（人）	902,373	**45,334**	2,218	949,925
	95.0%	**4.8%**	0.2%	100%

※令和５年３月末現在

（２）市営水道の経緯

昭和49年12月　第１次拡張事業認可
（土気、大椎・板倉、越智の３簡易水道事業統合）
昭和50年 1月　千葉市水道局設立（千葉市水道給水条例施行）
昭和60年 3月　第２次拡張事業認可
平成15年 4月　第３次拡張事業認可
（若葉北部地区、ちばリサーチパークの２簡易水道事業統合）



認可	給水区域	計画給水人口
第１次拡張（S49年度）	土気地区 8町一部 14.80㎢	25,000人
第２次拡張（S60年度）	土気地区 全域11町 31.47㎢	49,900人
第３次拡張（H15年度）	緑区22町 若葉区22町 80.28㎢	78,100人

（３）水源について

第２次拡張事業以降、

事業運営に必要な水量を確保するため、
霞ケ浦の水源（水利権）と房総導水路を
通水する権利（施設利用権）を取得

S59年度　房総導水路（0.06㎥／秒）
　　霞ケ浦導水（0.06㎥／秒）
H17年度　霞ケ浦開発（0.351㎥／秒）
H18年度　房総導水路（0.351㎥／秒）

H23年度　水需要精査（需要増加見込まれず）
↓
H29年度　霞ケ浦導水事業から撤退
（現在は霞ケ浦開発＋房総導水路のみ）

（現状の課題）
県営水道主導の浄水場が建設されず、未接続のため利用できていない。

↓

不足する水量を県営水道からの受水で確保しているため、受水費（毎年約７億円）と現在までの水源取得総額（約250億円）とが二重負担となっている。

（４）県営水道との比較

① 経営効率に大きな違い

市営水道は有収水量密度（給水区域面積あたりの有収水量）が低い　＝　同じ設備を作っても利用者が少ない

有収水量密度の比較（令和３年度）

	県営水道	市営水道	全国平均（※）
有　収　水　量　密　度 （有収水量（千㎥）／給水区域面積（ha））	5.46	0.79	1.21

※全国平均は末端給水事業1,248事業の加重平均による。

高いほど効率が良い

② 料金体系は同一（市民公平）

水道料金（1月あたり）　（税抜）

	県営水道	市営水道
基本料金	890円	
従量料金	3,290円	
計	4,180円	

※口径20mmで月25㎥使用の場合

③ 構造的な赤字

供給単価と給水原価（令和３年度）

	県営水道	市営水道
供給単価	189.85円	201.43円
給水原価	177.04円	375.14円
差額	12.81円	△ 173.71円

＜供給単価＞水１㎥あたりの水道料金収入

＜給水原価＞水１㎥を作るために必要な費用

低料金（県と同じ料金）で提供する水を、２倍のコストをかけて作っているため、赤字（＝繰入金）が発生

2　経営状況（Ｒ４決算）について

（１）収益的収支の概要

※「収益的収支」とは・・・**事業の管理・運営** に関する収入および支出をいいます。

百万円(税抜)

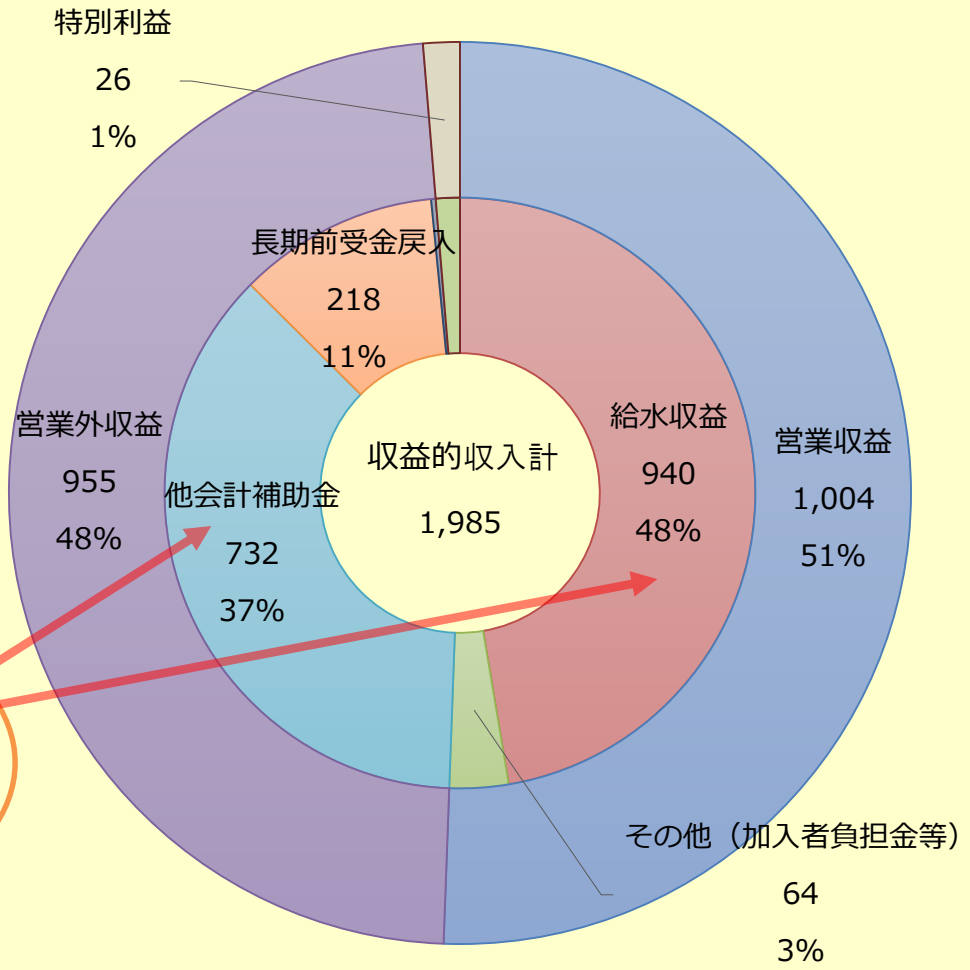
【収益的収入】　19億8,500万円

■営業収益　10億 400万円

給水収益（水道使用料）や加入者負担金など水道利用者からの収入

■営業外収益　9億 5,500万円

一般会計からの補助金など水道利用者以外からの収入



利用者負担は5割程度

約4割は他会計補助金（税金からの補てん）

【収益的支出】　19億8,500万円

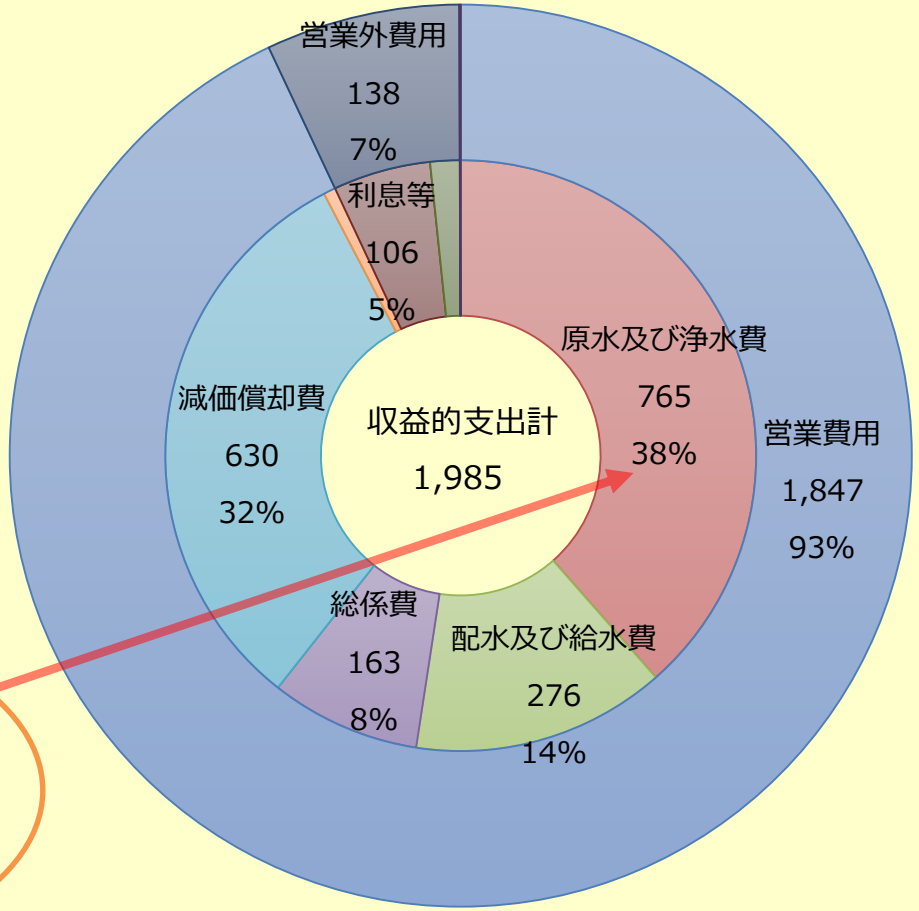
百万円(税抜)

■営業費用　18億4,700万円

県からの受水費、職員給与費、減価償却費など水道事業を運営していくために必要な費用

■営業外費用　1億3,800万円

事業運営に直接の関係がない費用（企業債利息など）



原水及び浄水費に含まれる受水費（7億700万円）が全体の4割近くを占めます。

（２）資本的収支の概要

※「資本的収支」とは・・・**施設の建設・改良** に関する収入および支出をいいます。

百万円(税込)

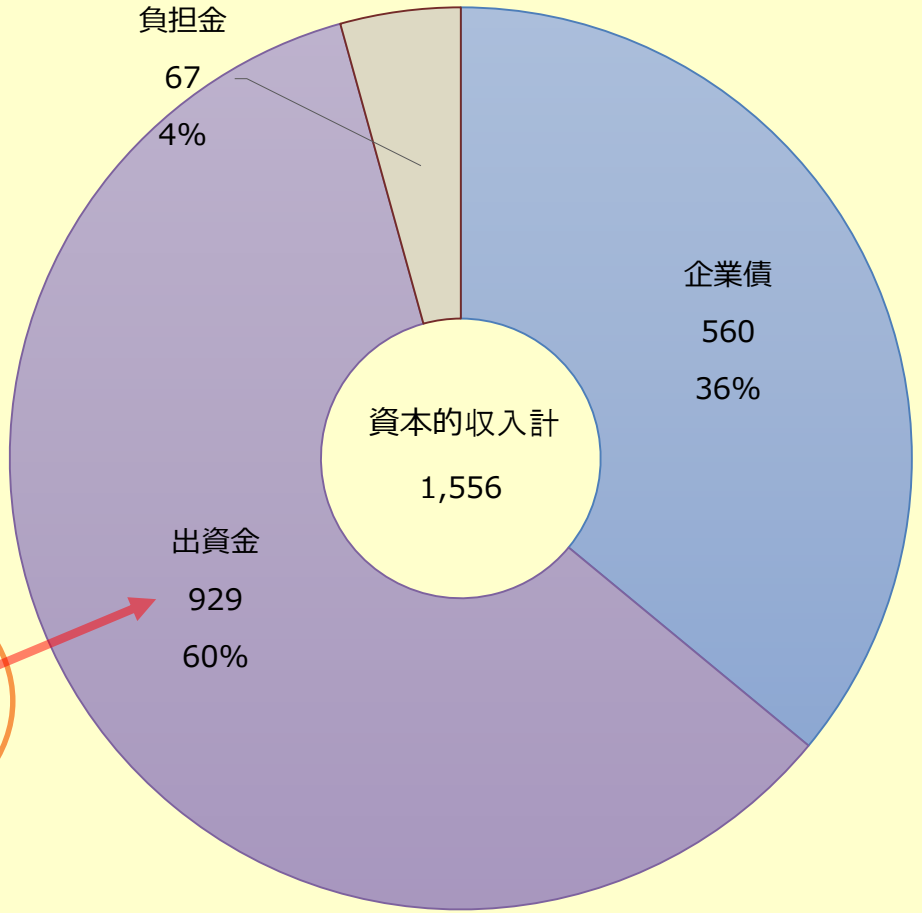
【資本的収入】　15億5,600万円

■拡張費及び改良費に充当する企業債

5億6,000万円

■出資金　9億2,900万円

一般会計からの出資金



収入のうち約6割が「出資」で、内部留保の不足を一般会計から補てんしています。

【資本的支出】　19億9,800万円

■建設改良費　9億1,700万円

拡張費

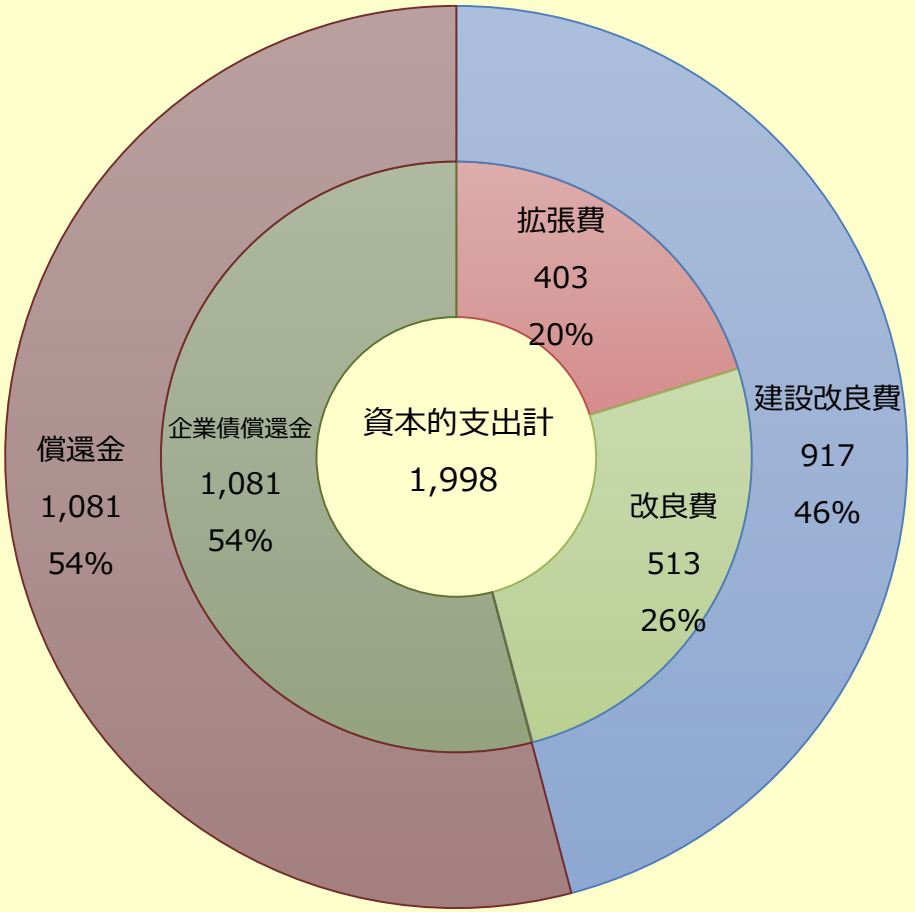
配水管整備（北谷津町）
霞ヶ浦開発事業負担金
房総導水路事業負担金 など

改良費

大木戸西澤橋水管橋更新
平川浄水場電気設備更新
配水管更新（土気町） など

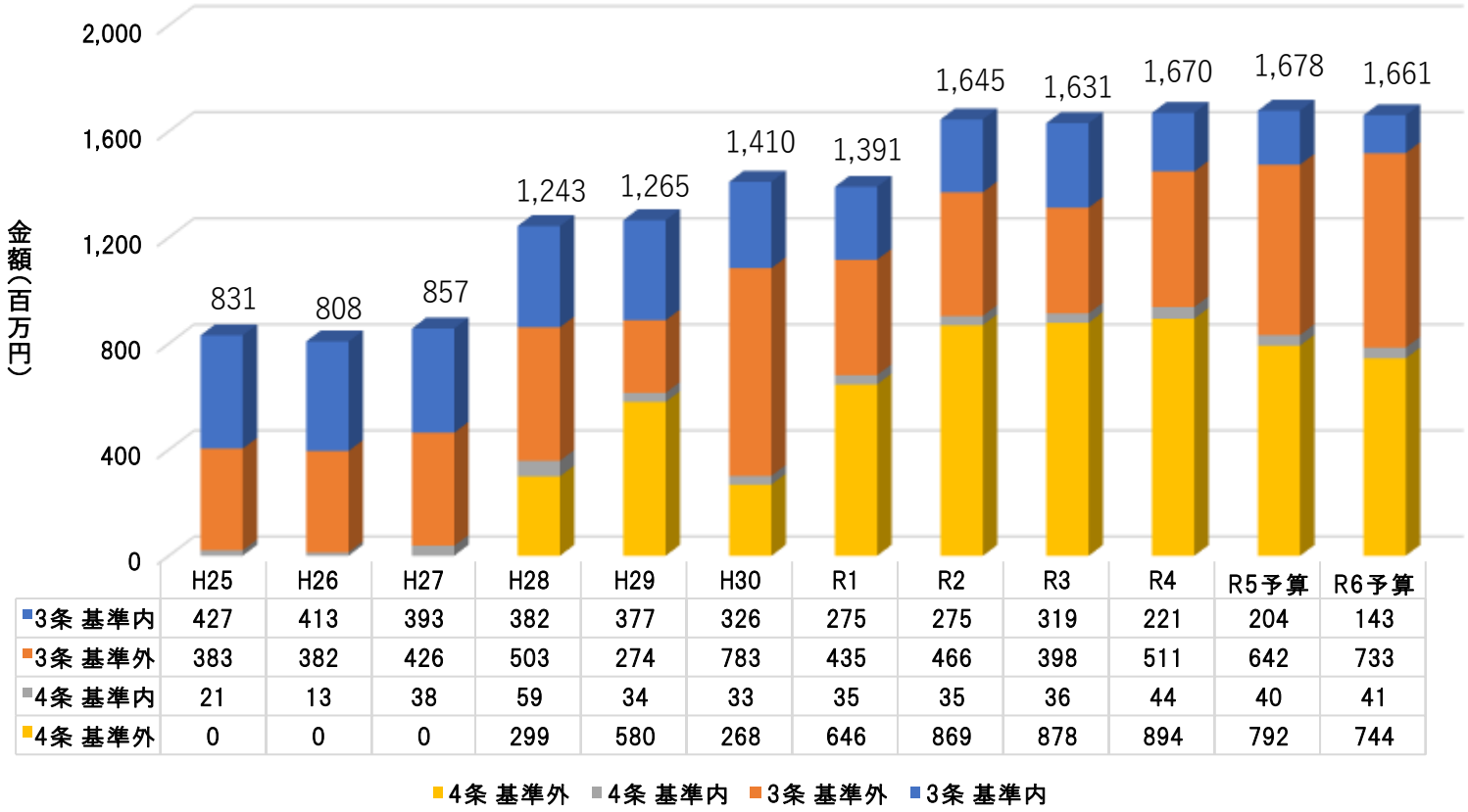
■償還金　10億8,100万円

百万円(税込)



（３）他会計繰入金の推移

補てん財源（内部留保）が枯渇したことから、平成28年度から4条基準外の出資金を計上しており、更に令和2年度から負担金（工事前受金）の計上が終わったことから、繰入金の総額は16億円を超えましたが、これ以後は、概ね横ばいで推移しています。



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5予算	R6予算
3条 基準内	427	413	393	382	377	326	275	275	319	221	204	143
3条 基準外	383	382	426	503	274	783	435	466	398	511	642	733
4条 基準内	21	13	38	59	34	33	35	35	36	44	40	41
4条 基準外	0	0	0	299	580	268	646	869	878	894	792	744

3　経営計画について

（１）中長期経営計画

水道事業における全国的な課題である
人口の減少、老朽化した管路等の更新、大規模災害への対策　などに対応するため、
国は水道事業体に計画の策定を求めています。

国から策定を求められる計画	
水道ビジョン （厚生労働省）	安全・快適な水の供給 災害時給水のための施設水準の向上
経営戦略 （総務省）	経営の健全化

両方に対応するものとして策定

千葉市が策定した計画
H28～R2　**中期経営計画**
R3～R12　**中長期経営計画**

中長期経営計画（R3～R12）

このあと「議題３」で
進捗報告を行います。

- 管路の耐震化
- 送水管の二系統化
- 浄水場等の設備更新

「現状でもできること」に取り組んでいます。

- 統合や広域連携強化　など

４　令和６年度当初予算（案）について

（１）基本的な考え方

◎中長期経営計画に基づき、「強靭」な水道、水道サービスの「持続」、「安全」な水道という３つの基本方針を踏まえて事業を進めていきます。

■安定給水を確保するため、
老朽化した配水管の更新・耐震化を行います。

■水道事業運営については、より一層の経費節減を図り、効率的な事業経営に努めます。

（２）業務の予定量

■給水戸数：2 万 634戸（ 前年度に比べ 175戸増 ）
■年間総給水量：464 万 2,800㎥（ 前年度に比べ 18,576㎥減 ）
■ 1 日平均給水量：1 万 2,720㎥
■主要な建設改良事業費：拡張事業費 1 億 4,500万円、改良事業費 4億円

（３）当初予算（案）の概要（前年度比較）

収益的収支　　（単位：百万円）

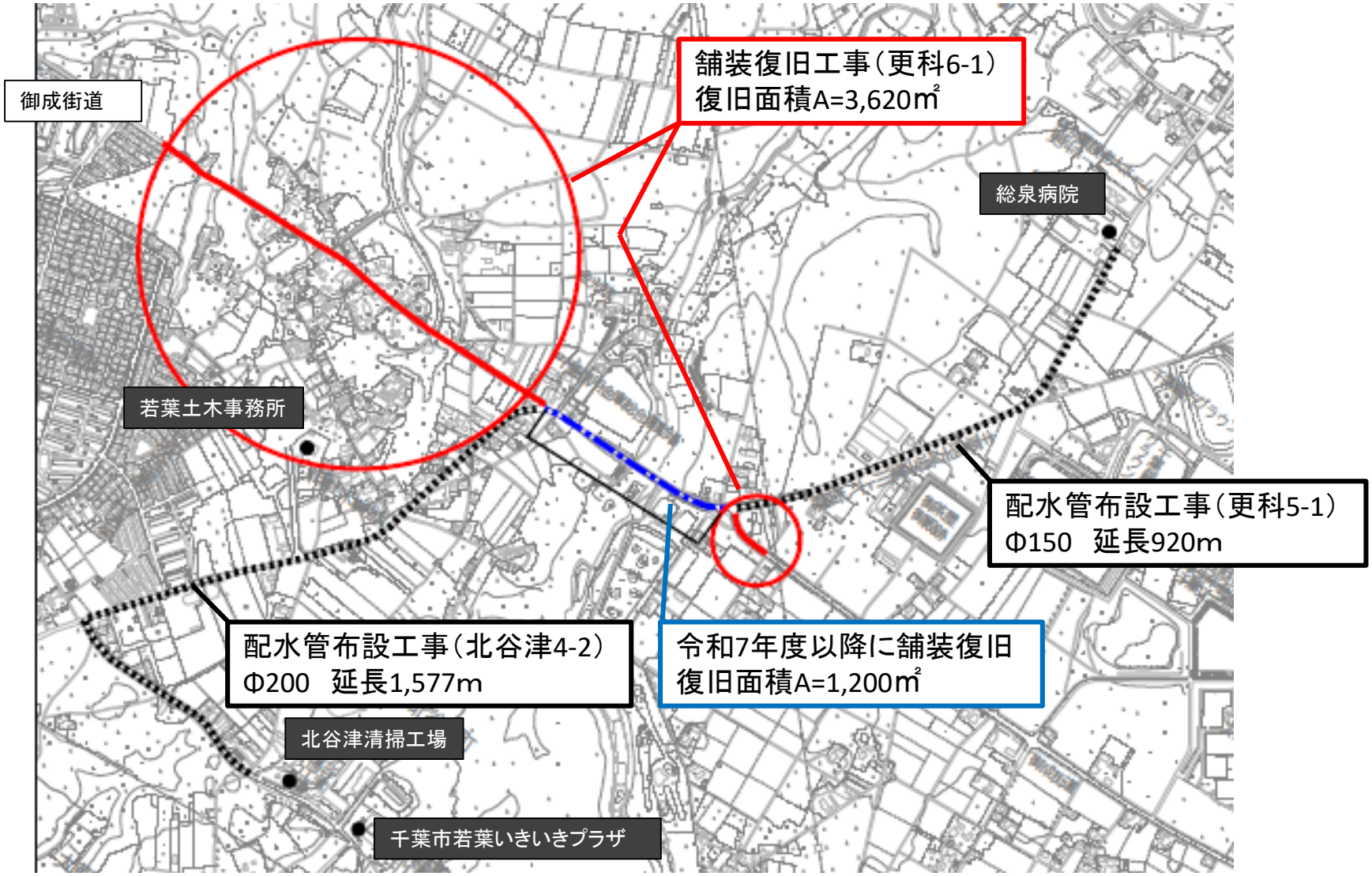
区　分	R６予算	R５予算	増　減　額	主　な　理　由
水道事業収益	2,225	2,229	△ 4	
営業収益	1,093	1,094	△ 1	
営業外収益	1,106	1,109	△ 3	
特別利益	26	26	0	
水道事業費	2,160	2,146	14	
営業費用	2,050	2,030	20	【営業費用】 物価や人件費の上昇を受け、委託料などの事業経費が増加しています。
営業外費用	109	115	△ 6	
予備費	1	1	0	

資本的収支　　（単位：百万円）

区　分	R５予算	R５予算	増　減　額	主　な　理　由
資本的収入	1,215	1,385	△ 170	
企業債	419	522	△ 103	【企業債】 拡張事業費の減などに伴い、企業債の減額を見込んでいます。
出資金（一般会計出資金）	781	828	△ 47	
負担金	15	35	△ 20	
資本的支出	1,725	1,853	△ 128	
建設改良費	740	863	△ 123	【建設改良費】 建設改良費は前年度から減額となっています。 （拡張費）更科町などの配水管整備が終わるため減 （改良費）高津戸町配水管更新、越智町配水管更新など
償還金（企業債償還金）	984	989	△ 5	
予備費	1	1	0	

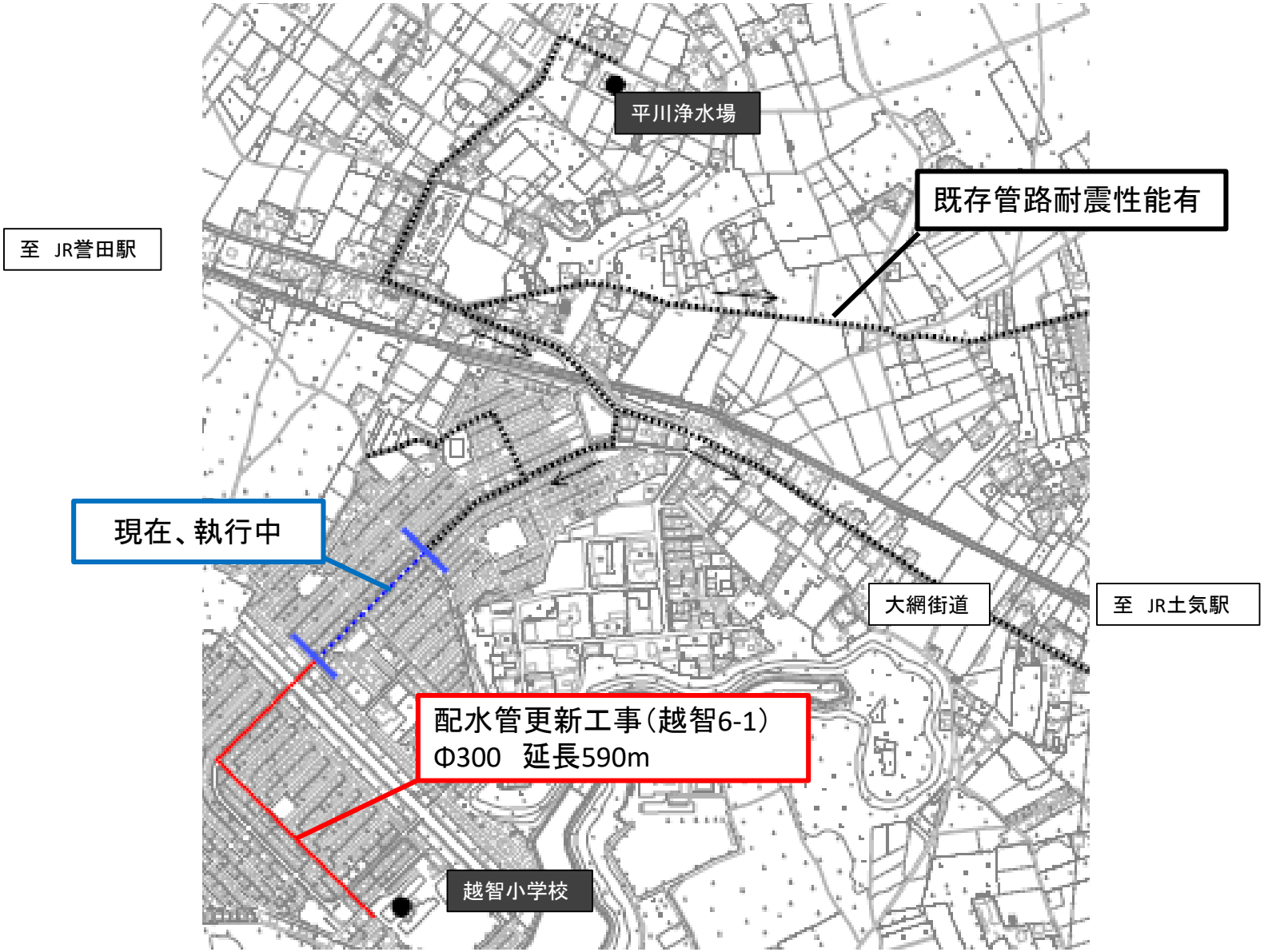
（４）主な事業
第3次拡張事業　①更科町配水管整備など

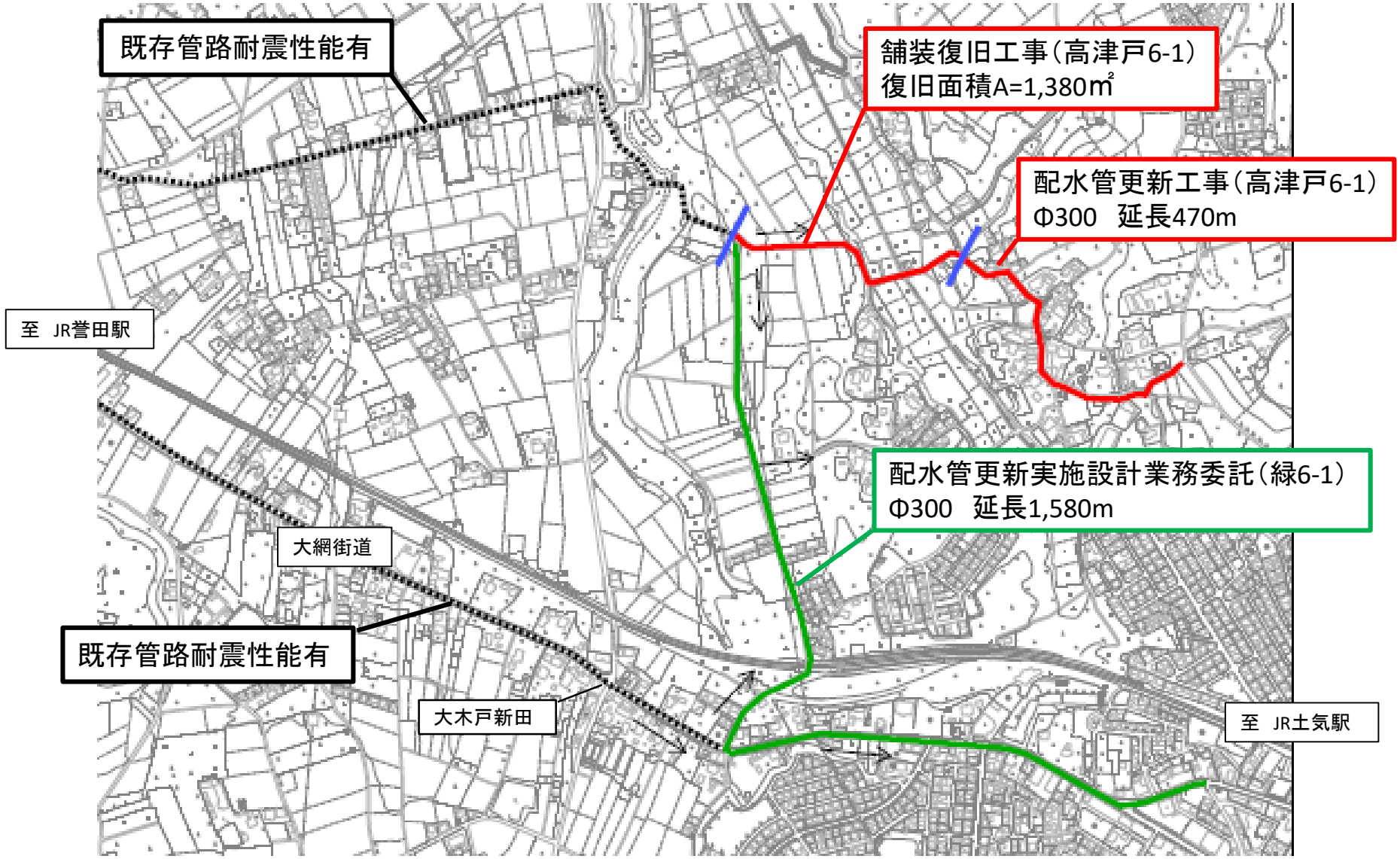
安定給水を目的として実施した配水管布設後の舗装整備を行います。



改良事業　②越智町配水管更新など

安全な水を安定して供給するため、老朽化した配水管の更新・耐震化を行います。



改良事業　③高津戸町配水管更新など

安全な水を安定して供給するため、老朽化した配水管の更新・耐震化を行います。